

西会津町とともにチャレンジ

ふくしま はじめ人

File No.17

西会津町地域おこし協力隊

あらうみ まさと
荒海 正人さん

えだ むつみ
江田 睦美さん

<プロフィール>

江田さん：栃木県出身。大学院を卒業後、歴史・文化財担当として西会津町へ移住する。
荒海さん：大学卒業後、Uターンで西会津町の協力隊に着任。移住・定住業務を担当する。



集落の仲間と保存活動を行う

「学生時代から地域活性化にとっても興味がありました。就職活動の時に協力隊員を募集していることを知り、社会貢献できるところに魅力を感じたんです。他にも募集地域はありましたが、幕末の歴史が好きだったので西会津町を選びました」

「就任後、黒沢地区で『集落を元気にしたい!』と地域おこしに力を注いでいる樽井清一さんと出会いました。樽井さんは88歳になりますが、集落の歴史を残すために今も精力的に活動を続けています。いつも元氣いっぱい、熱意のある樽井さんと出会い、『私も自分にできることで、もっとみんなの力になりたい』と強く思うようになったんです。福島には移住前から復興支援などで何度も来ていたのですが、その頃は分からなかった住民の方のやさしさや根気強さを、地域に入り込むことで深く知れて良かったと思っています」



小さな仏像も町の財産

江田さん
西会津で私ができること

「町の人と関わることで、自分の行動力と視野がどんどん広がっていくのを実感しています。今後は西会津町のみんなの記憶に残ることをやってみたいです。触ったり使ったりする体験型でワクワクするような面白いこととか。そして、西会津町の若者が、一度町を出ても『やっぱり故郷に帰ろう。地元のために何かしたい』と地元に戻りたくなる、そんな町にしたいと思っています」

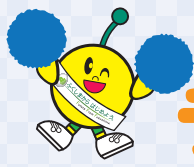
視野を広げて
みんなの記憶に残ることを

荒海さん
地元発信フッフッスイーツ

「昔は何にもない田舎だなど思っていました。大学の頃に地域活動に参加するようになってから、自分が生まれ育った環境や地域の文化、伝統、歴史、人のつながりに魅力を感じ、この魅力を伝えたくて協力隊に応募したんです。何もないと感じていた町の中に伝承すべき価値をたくさん発見しました」



特産の麩に新しい価値を



ぼくの // わたしの // チャレンジ「自慢」

県内の頑張っている児童・生徒の活動を応援します！

福島ひまわり里親プロジェクト いわき市立湯本第一小学校(いわき市)

全国の方に、ひまわりの種を購入して育て、採れた種を返送してもらい、その種を県内に配布し花を咲かせる活動です。取材当日は、イオンタウン須賀川でひまわりの種の贈呈式が行われました。

6年生 大和田 紗希さん



伝えること、つなぐこと

富岡町に住んでいましたが、震災後は茨城県へ避難しました。慣れない土地での生活はとても不安でしたが、小学校や地域のみんなが温かく受け入れてくれてうれしかったです。福島へ戻るとき、茨城の学校でプロジェクトへの参加を呼びかけたら、みんなが校庭に1,000本ものひまわりを咲かせてくれ、秋には64キログラム以上の種を受け取ることができました。今でも茨城の小学校のみんなとつながっています。

ひまわり甲子園での発表

平成27年から、NPO法人チームふくしまの子どもも理事として、「ひまわり甲子園地方大会」で震災体験の講演をしています。また昨年の全国大会では、避難先の学校が、福島を応援しつながるきっかけになったと発表して学校同士の交流も生まれたんですよ。これからも福島が元気になるよう活動していきます。



黒沢地区の歴史を守る活動中



88歳の樽井さんと



取り組みが評価され笑顔に



フーフूसイーツ 第1弾「車麩ラスク」



「今、西会津高校の『西高魅力発信隊』という活動で、町の特産品の車麩くるもふを使ったラスクの商品開発を行っています。県外の方に広く知ってもらおうとクラウドファンディングで資金を集め、東京のイベントにも参加。結果、遠方から西会津町に買いにきてくれる方もいて本当にうれしかったです。高校生たちのアイデアや活動が認められ、『復興ビジネスコンテスト2016』に入賞しました。この体験



試行錯誤を重ねるメンバー

「今、西会津町は若者離れが進んでいます。みんなが住みたいと思う町にするため、今年から地域とつながるゲストハウスや空き家の活用に挑戦する予定です。町の魅力や価値を地元の方に再認識してもらうことで、地域を守り抜く強い気持ちが生まれ、行動を起こしてもらえるようになるのが目標です」

空き家の活用に挑戦

「今、西会津高校の『西高魅力発信隊』という活動で、町の特産品の車麩くるもふを使ったラスクの商品開発を行っています。県外の方に広く知ってもらおうとクラウドファンディングで資金を集め、東京のイベントにも参加。結果、遠方から西会津町に買いにきてくれる方もいて本当にうれしかったです。高校生たちのアイデアや活動が認められ、『復興ビジネスコンテスト2016』に入賞しました。この体験

ふくしま
HOT
ニュース
ふくしまの旬をピックアップ!



「農業高校の甲子園」で快挙!

年に一度、全国の農業高校生が、農業に関する知識・技術の成果と実力を競い合う「日本学校農業クラブ全国大会」。福島明成高等学校の佐藤真末子さん、耶麻農業高等学校の五十嵐智美さんが見事、最優秀賞を受賞しました。